



12月号  
平成27年11月30日  
横浜市立東中田小学校  
校長 芝 フク代  
TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>



### 3校合同の交流と連携の大切さ

校長 芝 フク代

日頃から中田中学校が中心となって中田小学校と東中田小学校の3校の中田中学校ブロックでは、児童や生徒が交流したり、学校やPTAが共通のテーマで話し合ったりという取組が多くもたれています。

その一つに、今年度は晴天のもと、11月1日に「中田地域ふれあいコンサート」が行われました。本校と中田小のマーチングと中田中の吹奏楽、そして、3校合同のPTAコーラス、さらに今年度は中田囃子とひよっとこの踊りも加わり、その名の通り、中田中ブロックの3校の学校と家庭と地域が一つになった心温まるコンサートでした。幸せな気分浸ったひとときをみんなで共有できるこの取組は実に素晴らしく、一つのことを先輩から後輩へと引き継いでいくことに、とても意味があると感じています。一緒に聴き合う楽しさや交流のよさをこれからも大切にしていきたいと強く感じました。中田中の吹奏楽の伴奏でみんなで歌った「ふるさと」は、じ〜んと心に響きました。



3校の取組はPTA主催のものもたくさんあります。その一つが11月4日に行われた中田中学校区 親の学び支援事業です。今年度のテーマは「SNSと親子で上手に向き合おう～若者に起こっている現状とその現場～」で、よこはま西部ユースプラザ施設長の池田



正明氏の講演会が開催されました。「インターネットやSNSの利用は多くの人にとっても日常生活に欠かせないものになってきていて、持つことが前提となっている。」「持っていないと仲間に入れなくて子どもが困ったり、速さが求められるのですぐに返信しなければならないために、家に帰ってからもスマホが手放せなかったりと、いつも友達に気を遣って、人付き合いのストレスにさらされている状態が続いている。」「『友達地獄』と表現する学者もいる。」というお話でした。価値観の多様さや関係性の希薄さ等、不安がベースにある社会の中で、どこかで仲間外れにされるかもしれないと心配しながらSNSやLINEをやっているのが今の子どもたちの実情であることも知りました。生活リズムや日常のルーティーンが乱されないことを重視して、与えられたルールに常に縛られるのではなくて、自分たちに合ったルールを作ったり、必要に応じてルールを改善したりしながら、ある程度自由度のある社会の中で生活していくことが必要であると強く感じました。たくさんの資料に基づいた説得力のあるお話を3校で共有し、子どもを取り巻く環境について改めて考える時間をもてたことは、とても有意義でした。保護者間の連携や学校との協力をこれからもますます深めながら、子どもと大人、小学校と中学校の異校種の交流の場を大切にしていきたいと思っています。

本年も後ひと月を残すところとなりました。たくさんのご支援とご協力をありがとうございました。そして、引き続き、来年もどうぞよろしくお願いいたします。